

別紙 1

論文審査の要旨

報告番号	甲・乙 第 3001 号	氏 名	矢倉 沙貴
論文審査担当者	主査 砂川 正隆 教授		
	副査 本田 一穂 教授		
	副査 松山 高明 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>オイゲノールは丁字などの植物に含まれる成分で鎮痛作用を有することが知られている。オイゲノールの鎮痛作用の機序は明確ではなく、これまでに中枢神経系への作用、末梢神経系への作用、そして TRPA1 チャネルや TRPV1 チャネルなどの関与が報告されている。本研究では、新生ラットの胸腰髄の脊髄標本を用い、背側根刺激による反射電位によって痛み応答を評価し、オイゲノールが TRPA1 チャネルまたは TRPV1 チャネルへの作用を介して、この反射を中枢性に抑制するかどうか、電気生理学的方法および電位感受性色素を用いた光学的方法で検討した。その結果、いずれの方法でも、背側根刺激による反射電位がオイゲノールによって抑制されることが示された。これはオイゲノールが中枢神経系を介した鎮痛作用を有することを示唆する。また、薬理学的手法を併せた検討では、この抑制には TRPA1 チャネル、TRPV1 チャネルのいずれもが関与せず、他の機序の関与が示唆された。本研究は、オイゲノールの鎮痛作用に関する新しい知見を得ており、学術上価値のあるものであり、学位論文に値すると判定した。</p> <p>論文題名：</p> <p>Inhibitory effects of eugenol on putative nociceptive response in spinal cord preparation isolated from neonatal rats</p> <p>(新生ラットの脊髄標本を用いた痛み応答に対するオイゲノールの抑制効果)</p> <p>掲載雑誌名：</p> <p>Experimental Brain Research</p> <p>Vol. 236 No. 6 P. 1767-1774 2018 年掲載</p>			

(主査が記載、500 字以内)